

都学歯 広報

目次

●第47回東京都学校歯科保健研究大会	2
●平成25年度「東京都学校歯科保健優良校(園)表彰 の応募」と「歯の作文募集」に関するご協力の お願い	5
●学校(教育)に関わる用語①	6
●地区学校歯科医会からのメッセージ	7
●港区芝歯科医師会 学校歯科医部会	
●江東区学校歯科医会	8・9
●地区ニュース 府中／麻布赤坂・芝／足立／練馬 ／トピックス 平成24年度健康づくりフォーラム／ 第2回選挙管理会／第68回評議員会・総会	10
●各種委員会名簿	11
●会務報告／計報	12 13

TOGAKUSHI KOHO



都内発祥地シリーズ ㉓

『日本銀行創業の地』

明治15(1882)年10月10日この地で開業したが、のち明治
29(1896)年4月、日本橋本石町に移転している。

(所在地 中央区日本橋箱崎町)

写真と文 関根正行



社団法人 東京都学校歯科医会

〒102 東京都千代田区九段北4-1-20

-0073 TEL. 03-3261-1675

FAX. 03-3222-6528

<http://www.tasd.or.jp>

E-mail tasd@tasd.or.jp

発行人／鈴木 博

印刷／一世印刷株式会社

106

2013. 3

第47回

東京都学校歯科保健研究大会



川本 強会長挨拶



開会式



東京都教育委員会
教育長（代理）
五十里一秋氏



東京都学校保健会
会長
野中 博氏



日本学校歯科医会
会長代理
金森市造氏



東京都歯科医師会
会長代行
高橋哲夫氏



東京都歯科医師連盟
会長
大曾根正史氏



主催者席



来賓席



司会
浜田マリさんと鈴木 博専務



開会のことば
由井 孝副会長



閉会のことば
小嶋 憲副会長

日 時 平成25年2月7日（木）13時～
場 所 文京シビックホール 小ホール

今年の第47回都学歯大会も大盛況でした。
学校歯科保健に関心を持つ人々が増えた証
でしょうか。



入口のタテ看板



学校歯科保健優良校表彰



30年勤続表彰



歯科保健功労者表彰



作文講評
千代田区小学校
国語教育研究部長
山下理恵氏



優秀作文朗読
府中市立白糸台小6年 福田麻尋さん（左）
東村山市立東村山第七中1年 西垣玲奈さん（右）



歯の作文表彰



特別講演 「食事の時間は命の時間」～真の食事の時間を取り戻す～
講師 食育研究家・料理研究家 吉原ひろこ氏



今年も満員大盛況の客席



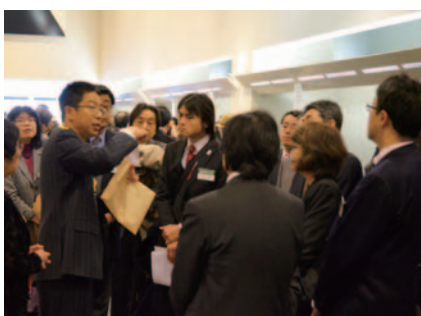
平成23・24年度 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業～望ましい生活習慣の形成を目指して～
「生徒が自主的に考え実践する歯と口の健康づくりの推進」ーむし歯予防を通しての生活習慣病の自主的な改善ー
文京区立第六中学校 校長 美谷島正義氏，主任養護教諭 松村妃富氏



合唱 文京区立本郷台中学校合唱部の皆さん



合唱部に感謝状を贈る川本会長（左端）



実行委員はそれぞれ担当の係ごとに入念な打ち合わせを行う



来賓受付



来会者の受付は 開会が近づくとならう



資料や記念品の袋詰めは能率かつ的確に

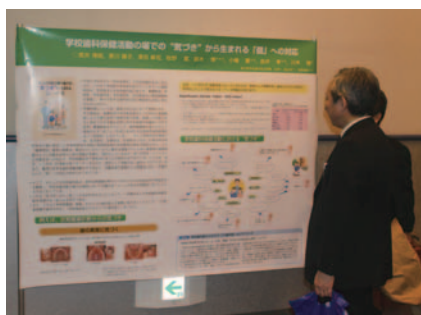


実行委員の陰の努力なくしては
円滑な会は進行しない

ありがとうございました。



賞状の受け渡しは慎重に。受賞者には学校名確認をお願いする



展示コーナー

大会終了後は
場所を「スカイホール」に
移して
賑やかに懇親会を開催



夕方近い 東京ドーム



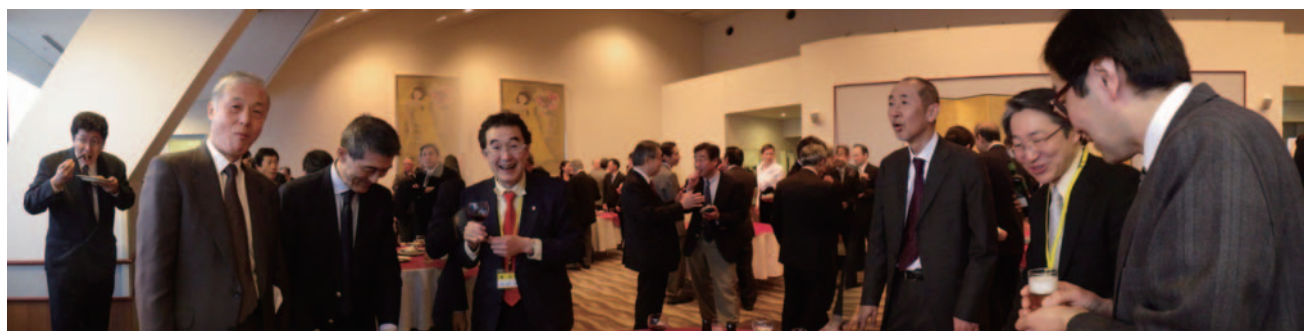
西連寺名誉会長の
「乾杯」で開宴



懇親会



和やかに明るく話は弾む



宴たけなわ

平成25年度 「東京都学校歯科保健優良校（園）表彰の応募」と 「歯の作文募集」に関するご協力をお願い

東京都学校歯科医会では事業の一環として、毎年、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象とした「学校歯科保健優良校（園）」を募集しております。また、小学校・中学校を対象とした「歯の作文」の募集もしております。

学校歯科保健優良校（園）表彰は、毎年春に行われる定期健康診断の結果や学校（園）歯科保健の活動状況を調査票に記入し、東京都学校歯科医会に送っていただきます。送られた調査票を東京都学校歯科医会の審査委員会において、学校（園）歯科保健活動が各学校（園）でどのように取り組まれ、幼児、児童、生徒の歯・口の健康づくりがどのように実践されているかを審査いたします。審査につきましては、う蝕処置率よりも学校（園）歯科保健の活動状況の評価に重点を置くようにしております。また、各学校（園）の学校歯科医の活動内容も評価の対象になる部分があります。

毎年多数の学校（園）に応募していただき、前年度は681校（園）の応募をいただきました。優良校（園）は東京都学校歯科保健研究大会で表彰させていただいております。

なお、日本学校歯科医会では幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に全日本学校歯科保健優良校表彰を行っております。東京都学校歯科医会では、応募校（園）の中から特に優れた6校（園）を選出し、日本学校歯科医会へ推薦いたします。

この事業の趣旨をご理解いただき、多くの学校（園）が応募されますよう各学校歯科医の先生方のご協力を切にお願い申し上げます。

また、「歯の作文」の応募につきましては、学校歯科保健優良校（園）表彰の趣旨と同じく子どもたちの歯・口の健康づくり育成事業の一環としておこなっております。対象学年は小学校では5年、6年、中学校では全学年となっております。

過去の作文の応募作品数は以下のようにっております。

	小学校	中学校	合計
平成20年度	335	97	432
平成21年度	377	118	495
平成22年度	448	100	548
平成23年度	484	149	633
平成24年度	409	196	605

応募作品は東京都学校歯科医会の審査委員会によって一次審査され、専門家の二次審査へとまわされます。これらの審査を経て選別された優秀作品の中から、小学校部門より一作品、中学校部門より一作品に絞られ、最優秀作品となります。そして、最優秀作品は毎年2月に開催されます東京都学校歯科保健研究大会の席上において、ご本人に朗読していただきます。また、優秀作品は本会ホームページにも掲載させていただきます。

この事業も子どもたちの歯・口の健康づくりに対する意識を高める手段といたしましては、これに優るものではありません。

事業内容を充分にご理解いただき、各学校歯科医の先生方におかれましては、担当されている学校（園）を訪問する際に、ご協力いただけるよう校長（園長）先生、養護教諭等に是非お願いしていただけるよう希望いたします。

「学校歯科保健優良校（園）表彰」応募について

●応募締切

6月末日までに東京都学校歯科医会へご提出ください。

『歯の作文』募集について

●対象学年

小学校5年、6年、中学校全学年

●募集締切

地区教育委員会は、地区学校歯科医会に7月中旬までにお届けください。地区学校歯科医会は、7月末日までに東京都学校歯科医会へご提出ください。

学校（教育）に関わる用語 ①

東京都教育庁 歯科保健担当課長

五十里一秋



保健活動を行う上で、教職員や保健関係者が日常よく使う用語をピックアップして、シリーズで掲載します。今回は「法律・制度編」です。多少言葉が難解で理屈っぽくなりますが、お付き合いください。

【教育基本法】

日本の教育に関する根本的、基本的な法律である。1947年に発布・施行され、2006年に全面改正された。前文には新たに、「公共の精神」「豊かな人間性と創造性」「伝統の継承」が規定された。

第1章「教育の目的と理念」では教育の目的が人格の完成にあるとし、第2章「教育の実際に関する規定」では、義務教育の目的、教育を受ける者が学校生活を営む上で必要な規律を重んじるとともに自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視すると規定された。さらに、学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力が新設された。

【学校教育法】

学校教育制度の根幹を定める法律である。日本国憲法、教育基本法の内容と理念を学校教育制度の中で具現化するねらいがある。学校の種類（校種）や学校運営に関する項目が規定されている。1947年に公布され、30回以上改正されている。2007年の改正では、学校運営組織の強化のために副校長、主幹教諭、主任教諭が創設され、また、盲学校、聾学校、養護学校が特別支援学校に一本化された。

【学習指導要領】

小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の各学校が各教科で教える内容について

学校教育法施行規則を根拠に定めたもの。1947年に告示された後、改訂を繰り返し、最近の改訂は2011年。2011年の改訂では生きる力を育むことや食育が強調されている。

【教育委員会】

都道府県や区市町村に設置されている合議制教育の行政組織のこと。委員は首長が議会の承認を得て任命する。学校教育関係では、①教育機関の設置、管理、廃止②教育機関の職員の任免③児童・生徒・幼児の入学④学校の組織編制、教育課程等⑤教科書他教材⑥施設・設備の管理⑦教育関係職員の研修⑧教育関係職員、児童・生徒・幼児の保健、安全⑨学校給食を担当する。

【生きる力】

知・徳・体のバランスのとれた力のこと。具体的には①変化の激しい社会を生きるため、基礎的な知識・技能を習得、活用して、自ら考え、判断し、表現することにより様々な課題に積極的に対応し、解決する力②自らを律し、他人と協調して、他人を思いやる心や豊かな人間性。③たくましく生きるための健康や体力。教育目的のひとつ。1996年の中央教育審議会の答申で取り上げられ、以降、学習指導要領に反映されるようになった。

<参考文献>

- 教育学用語辞典、第四版（改訂版）、学文社、2010年。
- 教育小六法、平成24年版、学陽書房、2012年。

地区学校歯科医会からのメッセージ

港区芝歯科医師会 学校歯科医部会

副部長 華岡 眞幸

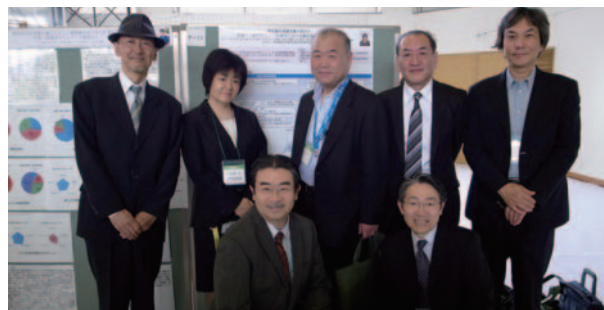


港区は企業が最も多く本社を構え、外資系企業や駐日大使館も数多く立地し、人口の約1割を外国人居住者が占める日本のビジネスの中心です。

その中でも我々は経済活動が活発なオフィス街としての虎ノ門・新橋・芝をはじめ、三田・白金台などの住宅街、芝浦・汐留・台場などの大規模開発地区という、さまざまな表情を持つこの地で保育園19名・幼稚園7名・小学校11名・中学校6名・高校2名の総勢45名の園・学校歯科医で活動を行っています。

組織としての社団法人東京都港区芝歯科医師会学校歯科医部会は昭和9年に芝学校歯科医会として発足しました。当初は学校歯科医のなり手は少なく、子どもたちの健康のため立ち上がった少数の先人から始まったとのこと。その後、昭和59年に芝歯科医師会と密接な関係を維持するため、部会と言う位置付けにし、現在では本会会長を部長に、本会担当副会長を部会役員におき、その他実務的な責任者である副部長と庶務、会計、学術などの役員、2名の監事、ならびに学術委員の総勢15名で活動しています。

ここ数年の傾向として、幼稚園や小・中学校が統廃合されその数が減った半面、待機児童が増え保育園数は増加しているなか、園・学校歯科医の公募数より、応募者のほうが多くなり選考しなければならない時代になりましたが、単に報酬や名誉だけにその意義を求めるものを排除し、真に子ども達の為に活動しようと志を持つ先生方を集めるため、平成13年より定年制、ポイント制を他の地区に先駆けて導入しました。定年制は満70歳とし、また、勤務年数を24年までとすることで、いわゆる30年勤続表彰は授与されないことにしました。一方、ポイント制は自己の研鑽目的として2年間の目標値を決め、ポイントの獲得には学校歯科医部会の企画する講習会やCO・GOのキャリアブレーション研修など、様々な学校歯科医部会会員のスキルアップを図るための事業で獲得できることはもちろんのこと、日学歯、都学歯が開催する各種大会、研修会への参加、全国学校歯科保健研究大会への参加などが加算ポイントとして設定されています。ポイントはあくまでも自己研鑽が目標ですが、学校歯科医は毎年の当会からの推薦によって区から委嘱されており、その報酬は区からの支給であるという観点から、何年も自己研鑽が不十分と判断されたときには、次年度の推薦を



行わないことがあります。

また、これら講習会の企画・運営や健診結果のお知らせの改定、園・学校に配布するリーフレットの監修、健診マニュアルの作成、新人研修会の実施、学校歯科にかかわる調査研究などさまざまな活動は学術委員会が行っています。そしてそれらの研究結果は港区学校保健研究発表会を始め、日本小児歯科学会、日本歯科医療管理学会、日本口腔衛生学会等の関係学会に発表しており、特に日本口腔衛生学会には「学校歯科保健活動の試み」として、平成24年の第8報まで発表し続けています。

なお、講演会・研修会については企画・運営を同じ港区の麻布赤坂学校歯科医会と合同で行い、港区教育委員会および港区子ども課の後援を得て、本会会員のみならず保育園から高校までの教職員も自由に参加できるようにして、年3回開催し、関係者の知識・情報の向上と共有に勤めています。

近年のインターネットの普及により当会でも本会のホームページ中にリンクする形で独自のホームページを立ち上げ、学校歯科医部会会員が自由に閲覧できるようになっています。そこには自己のポイントの確認やCO・GOのキャリアブレーションの復習、港区の過去の健診データ、自分でダウンロードして自由に加工できるデータ集などのほか、会員から寄せられた大会等参加時の写真も見ることができるようになっています。さらに、平成21年度より学校歯科保健活動の一環として、かみかみセンサーを用いた咀嚼訓練を始め、咬むことに対する興味を持ってもらえるように指導していますが子どもたちばかりか、保護者からの評判も良好です。

今後は、本会が平成25年度に公益法人化されることに伴い、我々の組織を一部変更し、本会の1組織として園・学校歯科だけでなく、母子保健にもかかわりを持つようになっていきますが、先人たちの情熱と努力を引き継ぎ、一人でも多くの子ども達の健康に貢献していきたいと願っています。

江東区学校歯科医会

会長 小泉 信隆



平成23年9月30日、旧(社)深川歯科医師会と(社)旧城東歯科医師会は、東京都より合併の認可を受け、平成23年12月22日社団法人東京都江東区歯科医師会となりました。現在の会員数は216名(内終身会員32名)です。両会の合併に伴い、旧深川学校歯科医師会と旧城東学校歯科医会も統合し江東区学校歯科医会となりました。

旧深川歯科医師会と旧城東歯科医師会はほぼ同じ規模の社団法人であったことと、両執行部間で開催された毎月の合同三役会・連絡協議会・臨時総会が円滑に行われたことにより、合併に要した期間は1年程でした。

学校歯科医会は、年度が新しくなる平成24年度から江東区歯科医師会の中の会として設置されることとなりました。これは、(社)江東区歯科医師会の事業の中核を「地域住民のライフステージ・生活習慣・生活環境を捉えた口腔保健の維持増進に関する事業を有機的に展開し、広く地域住民の生涯にわたる健康の向上を図る」を目的とする「地域保健関係事業」としたことによるものです。

近年、むし歯は減少傾向ですが、健康の基本である「食べる」ということに関して、「噛まない」「あまり噛まずに水で流し込む」「かたい食品を嫌う」など口腔機能の未発達な状態が観察されるようになりました。また、機能的問題だけでなく、社会環境の変化により偏った栄養摂取・朝食欠食などの子どもの食生活の乱れが問題となっています。超高齢社会に入った日本において、生涯を通じて口腔機能の恒常性を保持・増進させ健康な日常生活をおくれるようにするためには、出生前・後・幼児期・学童期からの歯科的アプローチによる自立した歯と口の健康管理ができるように啓発することが重要となります。そこで、地域保

健会関係事業の中に学校歯科保健関係事業を組み込み、ライフステージに沿った歯科保健の充実を目指しています。

本会の、事業計画の概要は以下のようです。

1. 学校歯科保健教育、保健管理の実践
2. 学校歯科保健思想の普及向上
 - 1) 東京都学校歯科保健優良校表彰に参加協力
 - 2) 歯に関する児童生徒の作文募集の応募協力
 - 3) 歯科保健図画・ポスター募集に応募協力
 - 4) 歯と口の健康週間行事の実施
3. 学術講演会・研修会の開催、調査研究
4. 各種大会、研修会、講習会への参加
学校保健(学校歯科医)研修会、関東甲信越静学校保健大会、全国学校歯科保健研究大会、ブロック別学校歯科研修会、その他
5. 学校歯科保健功労者の推薦
6. その他学校歯科保健の目的達成に関する事業

現在本会が担当しているのは、小学校44校・中学校23校・高校8校・特別支援学校3校・幼稚園20園・子ども園1園・保育園76園、計175施設です。江東区は、湾岸地区の人口増加に伴い幼児・児童・生徒も増加しており、今後も保育園・幼稚園・小学校等の新設が予定されています。本会では、70歳定年制を導入しているため、歯科医師会第1種・2種会員の大半が学校歯科医会の会員となっています。中には複数の施設を担当している会員も出てきており、また生徒数の格差も大きくなってきているため今後検討すべき課題は山積しています。

まだ結成されて1年に満たない会ですが、旧深川・旧城東両会の実績を生かし、他地区学校歯科医会・上部団体のご指導を仰ぎ自立した人間形成の一翼を担える学校歯科保健を展開してゆきたいと考えていますので、お導きの程宜しくお願い申し上げます。東京都江東区学校歯科医会の紹介とさせていただきます。

地区ニュース

城南7歯会学校歯科保健担当者 連絡協議会

府 中

平成24年11月29日19時より、蒲田歯科医師会館3階ホールにおいて、品川学校歯科医会、玉川学校歯科医会、荏原学校歯科医会、日黒学校歯科医会、世田谷学校歯科医会、大森学校歯科委員会、主催の蒲田学校歯科医会による城南7歯会学校歯科保健担当者連絡協議会が蒲田学校歯科医会小林正幸会長・都学歯川本強会長の挨拶により開催された。協議事項は、蒲田学校歯科医会富樫敏夫専務理事の進行で、(1)執務記録と保健所衛生士による口腔衛生指導活動に関するアンケート調査とその考察。(2)事前アンケートで変化のあった部分の解説。(3)前回で品川学校歯科医会より提出された①小・中学校における保健調査票の使用率②幼稚園・



保育園歯科担当者との連絡協議会を行っているか。(4)勧告書に記載されない CO・GO についての対応は各地区ではどの様にされているのか報告・協議された。中田裕康副会長の閉会の言葉で盛会裏に終了した。(酒井克典)

地区ニュース

港区麻布赤坂学校歯科医会・ 港区芝歯科医師会学校歯科医部会 合同研修会

麻布赤坂・芝

港区麻布赤坂学校歯科医会と港区芝歯科医師会学校歯科医部会の合同研修会が平成24年11月22日に麻布区民センターにおいて開催された。今回は、日本大学松戸歯学部教授の葛西一貴先生をお招きして「子どもたちが健康に過ごすために 正しく噛むことの意義」という演題でご講演頂いた。内容は、豊かな脳を育てるには「食」は大切なものである。噛むことによって、唾液・ホルモンが出て脳が活性化する。現在の子どもの食を取り巻く環境は決して良いものではない。その結果として、咀嚼が十分に機能できない不正咬合の

子どもたちが増加している。縄文時代人と比較し、現代人の顎骨幅は変わらないが、歯列幅は小さくなっており、歯列幅の大きさの違いは「歯の植立角度」の違いによるものであり、咀嚼活動が活発になるほど歯が直立してくる。顎や歯列の正常な発育のためには、咀嚼回数だけでなく、噛み方を改善することが必要である、などのお話であった。地道な経年調査による内容で、非常にわかり易くこらからの食育にも参考になるものであった。(清水浩一)



地区ニュース

平成24年度 学術講演会

足 立

足立区学校歯科医会は124名の会員がいて、学術講演を年一回行っています。今年度は都学歯の理事であり足立区で開業されている高野直久先生に虐待についての講演をお願いしました。スライドを交えながらの講演は大変タイムリーで、わかりやすかったです。歯科健康診断、治療の時には、小帯裂傷、歯牙外傷に注

意することが大事であり、極端にむし歯が多い場合は、何らかの問題がある場合があるそうです。また、沢山むし歯があるという事は、十分なケアを子どもが受けていない、母親に守られていない、生活全般に問題がある場合が多いそうです。他にも低出生体重児を持つ母親の心、児童虐待の相談窓口について等講演され、とても有益でした。

これからも時代の変化に即した学校歯科医会でありたいと思い、努力していきたいです。

(会長 奥野圭子)

地区ニュース

練馬区立小学校長・中学校長との研修会 (平成24年度)

練 馬

平成24年9月27日に「小学校長との研修会」、10月11日に「中学校長との研修会」をそれぞれ練馬区歯科医師会館にて開催いたしました。今年も練馬区教育委員会の方々を来賓に迎え、学校長と学校歯科医と3者間の連携を深める目的で、約2時間の研修会を行いました。本年の研修会は「喫煙防止教育について、児童・生徒の健康のために」のビデオを上映し、禁煙の必要性を恐怖心が募るようにアピールしました。西連寺名誉会長の乾杯の挨拶とともに有意義な懇親会が始まり、学校長と会員が多種に亘る話題で会場は騒然し



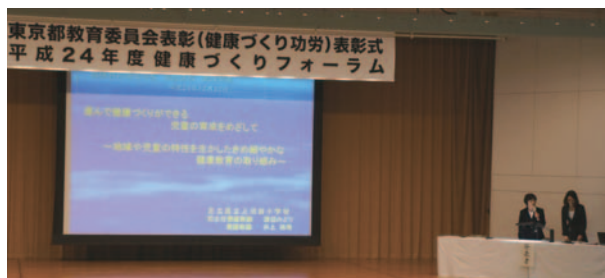
くも楽しい一時となりました。是非、各地区学校歯科医会も年間行事として遂行して頂きたいです。

(草柳英二)

トピックス////

平成24年度健康づくりフォーラム

平成24年12月20日（木）、東京都庁第一本庁舎5階大会議場において、標記大会が開催された。開会・挨拶に続き、「“噛ミング30（カミングサンマル）”を知っていますか？～生きる力をはぐくむ学校での『食べる力』の支援～”という演題で、昭和大学歯学部井上 美津子先生が講演された。食事は感謝の気持ちを抱いて、十分に噛んで味わうことによって身体と心



に栄養を摂り込むという「食べ方」の指導支援が必要、と述べられた。

トピックス////

第2回選挙管理会

平成25年2月14日（木）、歯科医師会館2階会議室で第2回選挙管理会が行われた。寺田委員長が開会を宣言し、由井副会長が挨拶を行い、鈴木専務理事が報告を行った。協議事項に入り、(1)代表理事候補者の予備選挙について、(2)新法人移行後の役員選挙について、(3)その他、について協議され、平成25年3月28日（木）の第68回評議員会を選挙の期日とし、それに伴



いタイムスケジュールを決定した。最後に和泉副委員長が閉会を述べた。

トピックス////

第68回評議員会・総会

平成25年3月28日（木）15時より歯科医師会館3階第一会議室において評議員会が開催されました。鈴木専務理事の司会のもと由井副会長が開会を宣言されたのち、点呼により評議員69名の中、64名が出席で定数に達しました。

川本会長挨拶では平成25年4月に新法人へ移行するので、会員の先生方に協力をお願いしたいと話されました。

次に来賓の日本学校歯科医会・金森会長代行、東京都歯科医師会・高橋会長代行、最後に東京都歯科医師連盟の河村副会長が挨拶をされました。

議長・副議長の選出では議長に練馬の望月評議員、副議長に麻布赤坂の藤野評議員が選出され、議事録署名人には荏原の井口評議員、板橋の早川評議員が選出されました。

会務報告を渡邊総務担当理事が行い、次に鈴木専務理事より新法人に4月1日より移行する報告がされ、次に長沼会計担当理事より会計現況報告され、最後に日本学校歯科医会第81回総会報告が中村代表会員によってなされました。以上の報告承認事項について質疑がなされ、目黒の堀内評議員の質問を経て評議員の賛同多数で了承され、議事に移りました。

第1号議案 平成25年度事業報告

第2号議案 平成25年度収支予算

第3号議案 会長候補者の選挙

鈴木専務理事より第1号議案の説明がなされ、また長沼会計担当理事より、第2号議案が説明された後、予算決算特別委員会の松浦委員長が報告をされました。以上一括上程され、質疑に入り西多摩の鏡評議



員、小澤評議員の質問要望を経て、評議員の挙手多数により第1号議案および第2号議案が可決承認されました。

第3号議案の会長候補者の選挙では、選挙管理会の寺田委員長が立候補者は川本 強会員1名で規定により無投票で会長候補者に確定されたと報告をし、挙手多数で可決承認されました。そして川本会員が挨拶をされ、引き続き現体制でいきたいので宜しくお願い致しますと述べられました。最後に小嶋副会長が閉会の辞を述べ終了致しました。

評議員会終了後、引き続き第68回総会が開催され、小嶋副会長が開会を宣言し、点呼に入り、委任状を含め1,049名（会員数2,068名）が参加し、評議員会で承認された第1号議案から第3号議案の承認事項が拍手によって賛同されました。

東京学校歯科医会 各種委員会

選挙管理委員会・同予備委員

委員長	寺田誠(豊島)
副委員長	和泉一清(本所)
委員	愛知徹也(麴町)
委員	山本道也(下谷)
委員	飯野正臣(渋谷)
委員	金藤初枝(荒川)
予備委員	後藤伊都子(多摩)
予備委員	増喜禮義(中野)
予備委員	青木満夫(江東)
予備委員	村山恒彦(昭島)
予備委員	山崎晃彦(大森)
予備委員	小林正幸(蒲田)

予算決算特別委員会

委員長	松浦康文(狛江)
副委員長	大竹徹(中野)
委員	華岡眞幸(港區)
委員	片桐博陽(芝)
委員	堀内哲(目黒)
委員	佐藤貞彦(練馬)

委員長	弘中玲子(調布)
委員	神田隆秀(葛飾)
委員	武井秀光(足立)

会誌・広報委員会

委員長	関根正行(麻布赤坂)
委員	清水澤浩(麻布赤坂)
委員	米勝久(杉並)
委員	吉野秀昭(板橋)
委員	神林英二(練馬)
委員	草柳

学術研究委員会

委員長	石川一郎(江戸川)
副委員長	三浦みつ子(荒川)
委員	松原真(文京)
委員	小川仲子(江東)
委員	小野田繁(渋谷)
委員	嘉部 邦彦(八王子)
委員	澁川義幸(学識者)

会 務 報 告

8/1 (水)	第2回学術研究委員会	会館
8/2 (木)	第63回関東甲信越静学校保健大会・歯科職部会	埼玉県会館
9/6 (木)	第2回選定校小連絡会	会館
	第5回事業部打合せ会	会館
	ブロック研修会予演会	会館
9/10 (月)	都立高等学校保健研究会役員連絡会	会館
9/13 (木)	第6回理事会	会館
	歯の作文審査会	会館
	第5回会誌・広報委員会	会館
	城南ブロック研修会	梅丘パークホール
9/18 (火)	都学歯大会特別講演講師打合せ	東京駅
9/20 (木)	図画・ポスターコンクール審査会	会館
10/4 (木)	作文2次審査依頼	富士見小学校
10/11 (木)	学校歯科保健功労者表彰検討会	会館
	第6回事業部打合せ会	会館
10/18 (木)	第7回理事会	会館
	第6回会誌・広報委員会	会館
	城北ブロック研修会	豊島区歯科医師会館
10/25~26	第76回全国学校歯科保健研究大会	群馬県会館
11/1 (木)	第1回選挙管理会	会館
	第1回予算決算特別委員会	会館
11/8 (木)	第7回事業部打合せ会	会館
11/8~9	第62回全国学校保健研究大会・全国歯科医協議会	熊本県会館
11/11 (日)	図画・ポスターコンクール表彰式	会館
11/15 (木)	第8回理事会	会館
	第7回会誌・広報委員会	会館
	多摩ブロック研修会	府中グリーンプラザ
	12校歯科大学同窓校友懇話会懇親会	アルカディア市ヶ谷
11/22 (木)	作文2次審査受取	富士見小学校
11/29 (木)	城南七歯会学校歯科保健担当者連絡協議会	蒲田歯科医師会館
12/1 (木)	東京都医師会学校医会 第37回学校医大会	東京都医師会館
12/6 (木)	第8回事業部打合せ会	会館
	東京都養護教諭研究会役員連絡会	会館
	第1回学校歯科保健功労者表彰選考委員会	会館
12/13 (木)	第9回理事会	会館
	第3回選定校小連絡会	会館
12/20 (木)	健康づくりフォーラム	都庁
12/21 (金)	東京都教育委員会連絡協議会	北大路新宿茶寮
1/5 (土)	新年会(品川)	品川歯科医師会館
	新年名刺交換会(杉並)	杉並会館
	新年賀詞交換会(荏原)	荏原歯科医師会館
1/10 (木)	都学歯大会現場打合せ会	文京シビックホール
	第9回事業部会	会館
1/12 (土)	合同新年会(江東)	ホテルイースト21東京
	設立80周年記念式典・新年祝賀会(板橋)	板橋区歯科医師会館
	賀詞交換会(東京都学校薬剤師会)	ホテルグランパシフィック
	新年賀詞交歓会(目黒)	目黒雅叙園
	新年祝賀会(練馬)	ホテルカデンツァ光が丘
1/14 (祝)	新春 先輩に感謝する会(葛飾)	

1/15 (火)	新年祝賀会(豊島)	テクノプラザかつしか
1/17 (木)	新春懇談会(都歯)	ホテルメトロポリタン
	第10回理事会	会館
	第2回参事会	会館
	新年会(大森)	大森歯科医師会館
	新年会(多摩地区)	立川グランドホテル
1/19 (土)	新年会(蒲田)	プラザ・アベア
1/20 (日)	創立90周年記念式典(八王子)	京王プラザ八王子
1/26 (土)	新年会(荒川)	ホテルラングウッド
	新年会(東久留米)	ホテルメトロポリタン
1/31 (木)	躍進の集い(都歯連盟)	ホテルグランドパレス
2/2 (土)	新春のつどい(東京都歯科衛生士会)	アルカディア市ヶ谷
2/7 (木)	第47回東京都学校歯科保健研究大会	文京シビック小ホール
	学校歯科保健功労者の顕彰と懇親会	文京シビックスカイホール
2/13 (水)	第3回学術研究委員会	会館
2/14 (木)	第2回選挙管理会	会館
	第9回会誌・広報委員会	会館
	第2回東京都学校歯科保健功労者表彰選考委員会	会館
2/20 (木)	第10回事業部会	会館
2/21 (木)	中央ブロック連絡協議会	音音イン
	城西ブロック連絡協議会	渋谷東急
	第2回予算決算特別委員会	会館
2/28 (木)	第11回理事会	会館
	第1回学術全体委員会	会館
3/5 (火)	第69回学童歯みがき大会組織委員会	会館
3/11 (月)	東京都歯科医師会附属歯科衛生士専門学校卒業式	会館
3/14 (木)	第11回事業部会	会館
	第4回選定校小連絡会	会館
3/18 (木)	選挙管理会 正・副委員長打合せ	会館
3/21 (木)	第12回理事会	会館
	第10回会誌広報委員会	会館
	私立学校対応打合せ	都庁
3/27 (水)	日本学校歯科医会総会	会館
3/28 (木)	選挙管理会	会館
	第68回評議員会	会館
3/30 (土)	第68回総会	会館
	多摩ブロック①地区連絡協議会	三鷹市駅前コミュニティセンター

【訃 報】

昭島市	関 芳彦	(多摩迎中学校)	H24. 9. 30逝去
町田	菊池大二郎	(つくし野中学校)	H24. 11. 19逝去
葛飾	倉田 徹男	(桜道中学校)	H24. 12. 31逝去
八王子	野下 昭彦	(上川口小学校)	H25. 1. 22逝去

上記の先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。(敬称略)